

図書館だより 5月号

2025年5月発行 江南市立西部中学校 図書館司書 木本規志子



みなさんの進級、入学を迎えてくれた満開の桜が、今は来年への準備の若芽が息吹き、きらきらと輝いています。そんな中で、みなさんも一息ついて、大きく伸びをしてみましょう。過ごしやすい季節ですが、一方で疲れが出やすい時期でもあります。体調管理に気を付けて、無理のないように学校生活を送ってください。図書館には、岩合光昭さんのパンダの写真集や絵本などあります。図書館でホッとする時間をどうぞ。



本のリクエスト

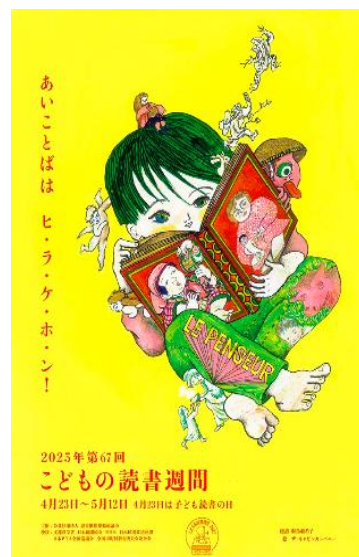
「学校図書館にこんな本があったらいいな」「この本の続きが読みたい」など、生徒のみなさんから、本のリクエストを受け付けています。リクエスト用紙は図書館のカウンターに置いてあります。用紙の記入項目に必要な事項を書いて図書担当の杉浦先生、三ツ口先生か司書に渡してください。

※ 書いたリクエスト用紙は、必ず先生に渡してください。



**あいことばは
ヒ・ラ・ケ・ホ・ン!**

2025・第67回 こどもの読書週間 4/23～5/12



2025子ども読書週間の標語〈作者のことば〉

子どもたちが勢いよくガバッと本を開く姿を思い浮かべながら考えました。本の中には出会いがあり、何度も会いに行きたくなる心を動かすなにかがあります。多くの子に本を手にとってそんな体験をしてほしいと願いを込めて。（読書推進協議会「子ども読書週間」紹介サイトより）

ぜひ図書館で、「ひらけほん！」
と本をひらいてみよう。きっと君
に合う本が見つかるよ。



本屋大賞2025大賞決定！

2025年本屋大賞！



『カフネ』

阿部 暁子／著 講談社

(出版社内容紹介より)

最愛の弟を亡くし、夫からも一方的に離婚され、生きる気力を失い、荒れた生活を送っていた薫子。そんな薫子が弟の恋人だったせつなに出会い、家事代行サービス「カフネ」を手伝っていくお話。

食べることは生きること。二人の「家事代行」が会う人びとの暮らしを整え、そして心を救っていく。

2位



『アルプス席の母』

早見和真（著）

題名からわかるように高校球児の母が主人公の作品。母親目線からの強豪校での高校野球が描かれており、凄くリアルです。

3位



『小説』

野崎まど（著）

小説を愛する二人の少年が小学校近くの小説家の屋敷の本棚でますます小説にのめり込む。しかし、その屋敷にはある秘密があった。

4位



『禁忌の子』

山口未桜（著）

救急医・武田航(32歳)の元に運ばれてきたのは自分と瓜二つの男！彼はいったい何者なのか？その問いは自分の存在を揺るがす事態へと・・・。

5位



『人魚が逃げた』

青山美智子（著）

「人魚」を探す「王子」と名乗る謎の青年が銀座の街で5人の男女に出会う。5人を待ち受ける意外な運命とは。そして「王子」は人魚と再会できるのか。

(出版社内容紹介より)

今回は1位から5位まで紹介しましたが、西中図書館では、1位「カフネ」、2位「アルプス席の母」、9位「死んだ山田と教室」、10位「成瀬は信じた道をいく」の購入を検討しています。入荷したら、図書館だよりで紹介します。ぜひ読んでみてください。